

脳神経内科研修プログラム

I. 研修について

脳神経内科は、血管障害、炎症、脱髄、変性などの原因でみられる大脳、基底核、小脳、末梢神経、筋肉の疾患が対象となる。具体的には、脳卒中、頭痛、パーキンソン病、ALS、てんかん、認知症、髄膜炎、多発性末梢神経炎、多発性硬化症、重症筋無力症疾患などが挙げられる。疾患は、多岐にわたるが、系統だった問診、診察にて鑑別疾患を挙げ、検査を行うことでの確な診断および治療が可能となる。当科では、脳神経内科における common disease である頭痛、てんかん、認知症、パーキンソン病、脳血管障害を中心に、適切な診断を行い、患者の QOL を考慮して治療を行うことを目標としている。

II. 研修の到達目標

神経学的診察を習得し、診断に必要な検査についての知識を学び、臨床に応用できるようになること、また、ガイドラインを参考にし、各患者にあった治療を適切に行うことができるようになることである。

具体的には、1)頭痛、めまい、しびれなどの高頻度にみられる疾患を、一人で診断・治療が出来るようになること、2)稀な疾患においても、他の医師へのコンサルトも含め、適切に対応できるようになることである。

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

[こちら](#)をご参照ください（当院HP診療科ページに移動します）

IV. 施設認定

[こちら](#)をご参照ください（当院HP病院概要ページに移動します）

V. 臨床研修指導医講習修了者数

2名

VI. 1週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察
午後	神経伝導検査	病棟回診	認知症カンファレンス		物忘れ外来 カンファレンス
その他					